

議会だより おかがき

No.123 9月定例会 令和元年10月25日発行

- 2～4 ● 平成30年度一般会計・特別会計・公営企業会計決算
- 8～12 ● 町政を問う
- 14～15 ● 住民懇談会「議員と語ろう」開催





増加 厳しい財政状況続く

平成30年度岡垣町各会計決算概要

(万円未満四捨五入)

区 分		収 入 額	支 出 額	差 引 額	
一 般 会 計		106億5650万円	102億4366万円	4億1284万円	
特別会計	国民健康保険事業	34億2610万円	34億7944万円	△5334万円	
	後期高齢者医療	5億6649万円	5億5057万円	1591万円	
	住宅新築資金等貸付事業	683万円	78万円	606万円	
企業会計	水道事業	収益的収支	4億7894万円	4億5417万円	2477万円
		資本的収支	1億2845万円	3億1113万円	—
	下水道事業	収益的収支	9億7058万円	8億5602万円	1億1455万円
		資本的収支	3億8372万円	7億4615万円	—

第3回定例会は9月6日から20日までの15日間の日程で開催され、平成30年度一般会計決算認定など議案17件（請願等を含む）について慎重審議しました。

※企業会計は、税抜き金額です。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。

収入の内訳

		30年度	前年増減額	説明
自主財源	町税	29億 524万円	△ 778万円	町民税など皆さんが直接町に納められるお金
	繰入金	6億 3194万円	△ 691万円	基金等から繰り入れるお金
	繰越金	3億 4427万円	1265万円	前年度からの繰越金
	使用料及び手数料	1億 3994万円	△ 538万円	公共施設の使用料や証明書発行の手数料など
	諸収入ほか	4億 3840万円	3241万円	分担金及び負担金、財産収入や寄付金
依存財源	地方交付税	25億 1552万円	1億 103万円	市町村の均衡をはかるために、国が交付するお金
	国・県支出金	21億 3880万円	△ 1億 8613万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
	町債（借入金）	8億 4345万円	1億 5309万円	町が事業を行うために借り入れるお金
	各種交付金	6億 197万円	△ 177万円	市町村の均衡をはかるために、国が交付するお金
	地方譲与税	9699万円	131万円	市町村の均衡をはかるために、国が交付するお金

監査意見3つのPoint

① 歳入・歳出ともに、予算の目的に合った執行がなされているが、単年度収支は赤字に転換した。また、財政調整基金から取り崩しを行っており、非常に厳しい収支状況である。

② 今後は、社会保障費の増加や、公共施設の老朽化に伴う維持管理、更新経費の増加、さらには、公債費の大幅な増加などが予測されている。安定した財政収支の均衡を図るためには、一般財源の確保と経常的経費の大幅な圧縮が喫緊の課題である。

③ 今後の財政運営において、常に長期的な視点に立ち、適正な行政サービスの水準と受益者負担についての検証を行いながら事務事業のスリム化を図る努力をするべきである。



30年度 決算

社会保障費(民生費)・公債費の

自主財源の確保と支出の見直しが今後の課題

主にこのように使いました ()は前年との比較

総務費

18億 6295万円

(前年比 3億 1186万円減)

行政運営の事務経費や町税の事務などの経費

- ・でんたつくんの整備が完了

民生費

42億 1577万円

(前年比 1億 2915万円増)

高齢者や障害者などの福祉、保育所の運営などの経費

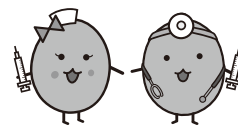
- ・認定こども園の施設整備への支援
- ・少子高齢化による社会保障費の増大

衛生費

6億 8267万円

(前年比 1774万円増)

保健、健康づくり、ごみ、環境対策などの経費

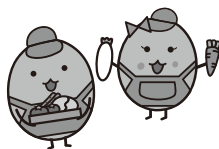


農林水産業費

2億 4399万円

(前年比 5491万円減)

農業・漁業振興のための経費



商工費

1億 6007万円

(前年比 894万円減)

商工業や観光振興のための経費



土木費

8億 2344万円

(前年比 5943万円減)

道路、橋、排水路、公園などの維持管理や町営住宅の経費



消防費

4億 3838万円

(前年比 4696万円増)

消防署や消防団、防災倉庫整備などの経費

- ・第3分団の消防車を購入

教育費

9億 5901万円

(前年比 9509万円増)

小中学校や生涯学習、体育事業などの経費

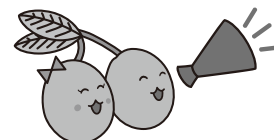
- ・小中学校にエアコンを設置

議会費

1億 1401万円

(前年比 6万円増)

議会運営のための経費



災害復旧費

1億 490万円

(前年比 9723万円増)

災害を復旧するための経費

- ・平成30年7月豪雨による災害復旧など

公債費

6億 3848万円

(前年比 7285万円増)

町が借りているお金の返済に使われています

基金(貯金)の累積残額

44億 4830万円

(前年比 3億 1211万円減)

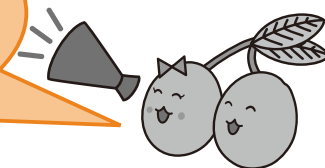
町債(借金)の累積残額

83億 429万円

(前年比 2億 5223万円増)

気になるアノ事業

議員からの質疑と、町長・教育長からの答弁の一部を紹介します。



安心安全対策

Q 災害が起こった時、避難行動要支援者の把握はどのようにしていますか。

A 要支援者名簿を作成しています。

Q 災害時のボランティアの受け入れ体制はどのようになっていますか。

A 災害ボランティアセンターを社会福祉協議会に立ち上げ受け入れを行い、他市町村とも連携が取れるようにしています。

Q 町の防犯カメラの設置状況はどのようになっていますか。また、自治区に対する補助金がありますか。

A 現在、公共施設を中心に防犯カメラを設置していますが、次年度以降自治区に対する補助制度の検討を行っています。

Q 公園の遊具の安全点検はどのように行っていますか。

A 都市公園法に基づき、専門業者と打ち合わせを行い、確認後、必要に応じて整備を行います。



豪雨による災害現場（黒山・大浦地区）

幼児教育・保育の無償化

Q 現在、岡垣町の待機児童はどうなっていますか。

A 待機児童は25名います。そのうち、0歳児14名、1歳児7名、2歳児3名、3歳児1名となっています。施設整備などを通して、受け入れ枠の拡大に努めます。

Q 無償化になれば、子どもを預けたいという方が増え、待機児童が増えるのではないですか。

A 今回の無償化は主に3歳から5歳を対象にしています。現在、3歳以上の町の子どもについては、97%以上が保育所などの施設に通っています。待機児童は主に0歳から1歳ですので、無償化になったことで需要が増え、待機児童が増えることは想定していません。

Q 全国的に保育士が不足していると言われています。岡垣町では、保育士の確保は万全ですか。

A 岡垣町でも厳しい状況ですが、国の政策にあわせ保育士の確保に努めています。

Q 保育士を確保するために、町が率先して賃金の引き上げ、処遇改善を行うべきではないですか。

A 町では、臨時保育士賃金の引き上げを行っています。また、施設へ支払う委託料の中で、国の基準にあわせて賃金の13%引き上げと、経験に応じ最大4万円の加算を行っています。

有害鳥獣駆除

Q 近年、イノシシなどによる被害が増えています。今年度の被害額はどれくらいあったのですか。

A 被害総額は1700万円でした。

Q イノシシの捕獲量はどのようになっていますか。

A 平成28年度は451頭、29年度は265頭、30年度は385頭と推移しています。

Q イノシシ対策として、電気柵を設置したい場合、町に要望できるのですか。

A 電気柵の要望については100%対応しています。

Q 自分の耕作地に箱わなを仕掛ける場合、免許は必要ですか。

A 私有地であれば免許がなくても設置できますが、町に届出、許可が必要ですが。



箱わなにかかったイノシシ



議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥 除・退席 退・欠席 欠

内 容	採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		結果	木原 大輔	市津 広海	太田 清人	曾宮 良壽	太田 強	平山 正法	横山 貴子	安里 雅恵	神崎 宣昭	三浦 進	広渡 輝男	川地 啓輔
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9/6	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町農業委員会の委員等の定数に関する条例の一部を改正する条例	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町水道事業給水条例の一部を改正する条例	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住居表示を実施すべき市街地の区域を拡張する区域及び当該区域における住居表示の方法を定めることについて	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町一般会計補正予算（第2号）	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町水道事業会計補正予算（第1号）	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について	9/20	賛成多数 認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成30年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/20	賛成多数 認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成30年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9/20	賛成多数 認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成30年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度 岡垣町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	9/20	可決及び 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度 岡垣町下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	9/20	可決及び 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
黒山・大浦地区災害復旧工事請負変更契約について	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
所得税法第56条の廃止を求める請願	9/20	賛成少数 不採択	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●
天皇陛下御即位奉祝賀詞決議	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は地方自治法の規定により議決には加わりません。

平成30年度 岡垣町一般会計 歳入歳出決算認定について

反対

高齢者の負担増はやめるべき

平山 正法 議員

中学校に入学する生徒を対象にした就学援助入学準備金の入学前支給が始まった。また、スクールソーシャルワーカーを町単独で雇用したほか、小中学校の教室へのエアコンの設置に向けても動き出したことは評価する。

その一方で、行政改革推進計画に基づき、敬老祝金の削減や老人憩いの家のお風呂が廃止となった。

これらは、高齢者にとってやさやかな楽しみであり、身近な福祉施設でもあった。これらを廃止したことによって、高齢者は負担が増えてしまふと同時に、高齢者の健康づくりや福祉の増進を後退させてしまうものであることから反対する。

賛成

財政基盤の強化が課題

広渡 輝男 議員

実質収支2億7千569万円の赤字だが、基金から3億8千万円を繰り入れており、実質単年度収支は2億6千791万円の赤字である。

適正な行政サービスの水準や受益者負担を求め、健全な財政運営を目指しているが、町民に負担を求めるともおのずから限界がある。歳出は、子育て支援や、民生費の確保、農業・漁業環境整備や、高齢者の外出を支援する公共交通の充実、小中学校の空調施設の整備などの取り組みは評価する。財源の強化へ向けたJR海老津駅周辺整備や開発の促進と自然豊かな西部地域の活性化策や中部地域の特性を生かした定住人口増加策の推進を強く求め賛成する。

厳しい財政状況の中、第5次総合計画に掲げるまちづくりの将来像についてそれぞれの施策の実現に取り組みされた。特筆すべきは、「みんなが安全で安心して暮らせるまち」への取り組みである。比較的災害の少ない岡垣町ではあるが、災害等の緊急情報や地域情報を速やかに住民に伝える地域情報伝達無線システムでんたつくんの運用や新型Jアラート受信機導入は大きな成果と判断する。

安全・安心のまちづくりへ

太田 強 議員

これら活用の活用が町民の安全・安心のまちづくりとなることを述べて賛成する。

非常に厳しい財政状況の中、第5次総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略など多岐に渡り、きめ細かな行き届いた政策を立て、着実に取り組みを実行した。

その結果「岡垣の住み良さを高く評価する。」を高く評価する。

しかし、財政状況が非常に厳しいことを住民に周知徹底し、共通の認識を持つことも大切である。今後も自主財源の増収に努め、行政改革推進計画や公共設備等総合計画を着実に実行していくことが必要である。「輝く未来。明るいおかがき」の実現に向け、キラリと光る政策に取り組みされることを期待し賛成する。

住みやすさブランドの確立を評価

神崎 宣昭 議員

非常に厳しい財政状況の中、第5次総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略など多岐に渡り、きめ細かな行き届いた政策を立て、着実に取り組みを実行した。

その結果「岡垣の住み良さを高く評価する。」を高く評価する。

しかし、財政状況が非常に厳しいことを住民に周知徹底し、共通の認識を持つことも大切である。今後も自主財源の増収に努め、行政改革推進計画や公共設備等総合計画を着実に実行していくことが必要である。「輝く未来。明るいおかがき」の実現に向け、キラリと光る政策に取り組みされることを期待し賛成する。

非常に厳しい財政状況の中、第5次総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略など多岐に渡り、きめ細かな行き届いた政策を立て、着実に取り組みを実行した。



これから、限られた一般財源を有効活用し、行政改革推進計画や公共施設総合管理計画を着実に実行していただきたく賛成する。



岡垣中学校エアコン

行政改革が始まったばかりの決算であり、必ずしもすぐに成果につながるものではないが、少子高齢化の脱却のため、学校のエアコン整備など子育て政策に対して変化の予兆が見られるなど、今後の行政改革の手腕が期待される決算である。

木原 大輔 議員

今後の行政改革に期待

平成30年度 主な事業



第3分団消防車購入



建設中の認定こども園

平成30年度 岡垣町国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算認定について

反対

制度に問題がある

平山 正法 議員

国民健康保険の加入者構成は、自営業者や農業、漁業者、年金生活者や非正規雇用者などで、合わせて8割近くになっている。

重い負担である国民健康保険税を引き下げるには、十分な公費を投入することが必要不可欠である。

国民健康保険の都道府県単位数は、国が都道府県を通じて、医療費抑制、提供体制の適正化を行うことを目的とするものである。これによって、国民健康保険税の基準となる国民健康保険事業費納付金は、県が決定し、町は納付金を全額納めなければならぬ。これは、国民健康保険税の値上げにつながる仕組みであることから反対する。

賛成

適切に予算執行されている

太田 清人 議員

本事業の収支面において、赤字決算となったことは今後の課題としてとらえる必要があるものの、

1. 事業自体が、制度改正や医療費の動向等、外部要因に左右され、自主的な運営は難しく、収支改善の選択肢が限られていること。

2. 税率の改定における収支改善努力、健康増進事業をはじめとする諸施策の実施で、対応の医療費抑制努力がなされ、評価できること。

3. 一般財源からの資金投入を含め、予算執行は本事業の目的に沿っており、計数的にも問題ないこと。

以上の理由をもって、賛成する。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員氏名	内 容
9	平山 正法	1. 家庭ごみについて ◇2. 動物愛護について ◇3. 町民の健康増進について
9	太田 強	1. 西部地域の活性化について
10	川地 啓輔	1. 災害時の避難対策について 2. 子どもを取り巻く環境について
10	横山 貴子	1. 子育て支援について ◇2. 安全・安心のまちづくりについて
11	広渡 輝男	1. 公共交通サービスの充実へ向けた今後の取り組みについて（その1） 2. 都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画について（その1）
11	安里 雅恵	◇1. 子どもの健康と命を守るために 2. 資源循環型社会を目指すために
12	曾宮 良壽	1. 岡垣町の土地問題・道路課題について

◇はこの議会だよりに掲載できなかった質問です



【平山】高齡化が進み、単身の高齡者世帯が増えています。その方々から、もっと小さいごみ袋が欲しいという声があ

【町長】ごみ処理にかかる経常経費は、年間で20億円から21億円かかっています。これに対し、ごみ袋や資源物の販売収入は約6億円となっており、差額の14億から15億円は構成市町からの負担金で賄っている状況です。ごみ袋の料金は、受益者負担の観点から、ごみ処理経費の一部を住民のみなさんに負担していただいています。このため、現在の収支状況においては、ごみ袋の料金値下げは難しいというのが広域事務組合と構成市町の見解です。

【町長】ごみ袋の大きさや料金設定は、岡垣町を含む遠賀郡と中間市の1市4町で合意がなされたものを広域事務組合が共同で事務を行っています。岡垣町も全国のように、ごみの量は減少傾向にあります。しかし、住民からは、ごみ袋料金が高いという声が出ています。1市4町でも協議を行い、ごみ袋料金の引き下げに取り組むべきではないでしょうか。



平山 正法 議員

議員

町長

現在の収支状態においては難しい

ごみ袋料金の引き下げを



指定ごみ袋

【町長】広域事務組合では、小の袋と隣の自治体の極小の袋を比較して大きな違いがなかったというところで見送っています。しかし、極小のごみ袋の必要性については、今後の実態とニーズの把握につとめて、構成市町と協議を進めてまいります。

【町長】ごみ袋の大きさや料金設定は、近隣の自治体などは、極小のごみ袋を設定しています。広域事務組合でも設定すべきではないでしょうか。

【町長】三里松原西側地域の整備についての考えは、

【町長】企業誘致条例適用の対象事業でもあり、町は平成30年に上下水道を整備しました。ワイナリーが開業すると、西部地域を訪れる人が増えると考えます。観光エリアの魅力が高まるので経済的波及効果をもたらし、具体的に検証し、事業展開に際して必要となる支援を行いたいと思います。

【町長】ごみ袋の大きさや料金設定は、近隣の自治体などは、極小のごみ袋を設定しています。広域事務組合でも設定すべきではないでしょうか。



太田 強 議員

議員

町長

町として必要な支援を行いたい

民間活力導入で西部地域の活性化を



アダプト制度による草刈り（前と後）

【町長】平成31年3月まで活動してきた中西部地域活性化調査特別委員会でその報告書をまとめました。その中で、西部地域で民間企業のワイナリー建設に向けた取り組みが進行中です。これは、地域の核となる拠点整備となり、これから面となって拡がっていくと考えられます。今後も町の支援体制がぜひとも必要です。町としてどう考えますか。

【町長】企業誘致条例適用の対象事業でもあり、町は平成30年に上下水道を整備しました。ワイナリーが開業すると、西部地域を訪れる人が増えると考えます。観光エリアの魅力が高まるので経済的波及効果をもたらし、具体的に検証し、事業展開に際して必要となる支援を行いたいと思います。





川地 啓輔 議員

議員

全ての自治区に避難所を

町長

自治区の意見を参考に進めている

川地 災害時に避難することが困難な方への対応はどのように考えていますか。

町長 主に要介護認定を受けた高齢者や障害者を対象者と定め、「要支援者名簿」を作成し、そのうち自力での避難が困難な方は、避難時に必要な情報を整理した個別計画を作成しています。

川地 全ての自治区で避難所を指定する考えはありませんか。

町長 指定緊急避難場所は、住民の身近にある施設が望ましいことから、地域防災計画に基づき、自治公民館やコミュニティ広場などを避難所に指定するため、各自治区からの意見を参考に取組みを進めているところです。

川地 通学路等歩道の交通安全対策はどう取り組んでいますか。

町長 通学路等における安全確保を図るため、通学路交通安全プログラムを策定し、道路管理者・教育関係者・交通管理者の3者が連携して現地での合同点検を実施し、危険箇所についての対応方法や優先



安全が求められる通学路

順位の検討を行っています。歩道の安全性を確保することは非常に重要な課題であると認識していますので、今後も限られた予算を有効に活用し、効果の高いものから優先的に対応を行ってまいります。

川地 教育現場において保護者や地域の声をどう教育行政に生かしていますか。

教育長 小中学校のトイレの洋式化やエアコンの設置、また部活動で部の新設・小規模校の特認校制度の導入なども保護者等の要望により実施しました。今後も届けられた声をしっかりと受け止め、積極的に取り組んでいきたいと考えています。



横山 貴子 議員

議員

ワクチン再接種への助成を

町長

今後、調査研究を進める

横山 子育て世代の方々の方が安心して子どもを産み育てられる環境を整えて行くことは、少子高齢化が進む中、重要な取り組みと考えます。

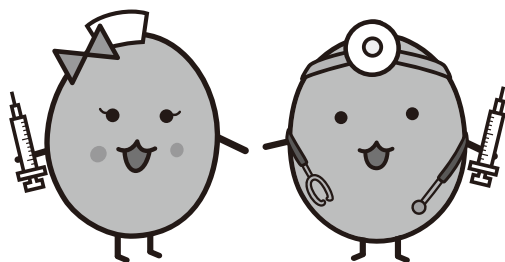
町長 本年10月に妊娠期から子育て期にわたって子育て家庭に寄り添った切れ目ない体制のため「子育て世代包括支援センター」と、児童家庭充実に向けて「子ども家庭総合支援拠点」を設置します。さらに、来年4月には、利用者にとってわかりやすく、子育て施策を効果的・効率的に提供できるように、子育て支援事業の充実を図ることを検討しています。

横山 乳幼児から小学生までには、病気から身体を守るためワクチン接種を受けていますが、ワクチン接種を終えた後に造血幹細胞移植を必要とする病気にかかると、定期接種で得た抗体を失い、再接種が必要になり、全額自己負担で20万円程かかります。

ワクチン再接種の助成制度の創設は

できませんか。

町長 本来であれば、私はこのような方々が受けられた定期予防接種後の再接種は、予防接種法に位置付けるものだと考えますが、法改正には至っていないのが現状です。現在、このような助成事業を導入している自治体は多くはないため、岡垣町としては、他の自治体の状況等を含め、今後調査研究を進めてまいります。





広渡 輝男 議員

議員

いつまでも暮らしやすいまちへ
向けて

町長

コンパクトなまちづくりを目指す

【広渡】 少子高齢化の中で高齢運転者の増加、高齢者の外出率の増加と将来の移動手段確保へ高まる不安、高齢化と運転免許返納など生活環境は一層厳しくなっています。現在の取り組みの課題や対策等をどのように分析され、第4次公共交通計画策定へ向けた基本的な方針についてお尋ねします。

【町長】 昨年10月に西鉄バスの減便や交通不便地域の解消、運行経費の抑制など課題を解消するために大規模な再編を行いコミュニティバスの運行路線やデマンド交通の見直しを行いました。減少傾向であった利用者数は増加傾向にあり再編の効果が表れています。

今後の課題としては、人口減少と少子高齢化の影響から、利用者の減少と高齢者の運転免許返納後の利便性へ向けた対応や、運行経費が5千万円を超え財源対策が課題です。

【広渡】 都市再生特別措置法に基づく「いつまでも暮らしやすいまちへ向けた取り組み」は国の支援を



駅前コミュニティバス

受けることが可能になり、重要な役割を担うと考えます。都市計画と公共交通の一体化の取り組みについてお尋ねします。

【町長】 国は地域の活力を維持向上するため、医療・福祉、商業等の生活機能を誘導するコンパクトなまちづくりと、地域公共交通の連携を強化する考え方を示しているため、この方向性を踏まえ次期計画の策定に取り組みます。



安里 雅恵 議員

議員

ごみの減量化について

町長

やらすすめについて

【安里】 燃えるごみの半分が生ごみで、生ごみの80%は水分とありました。ごみの減量化には生ごみの水切りが大切だと思いますがいかがですか。

【町長】 ごみの減量化の取組みの中でも特に生ごみの水切りの徹底は有効です。また、生ごみの堆肥化機材への補助やダンボールコンポストの取組みも行っています。

【安里】 各家庭が水切りを心がけると、どのくらい減量化できますか。

【町長】 例えば、各家庭が毎日大さじ2杯分の水を切ると、年間で約150t減量化できます。

【安里】 各自治区でのダンボールや雑紙などの資源回収量はふえていきますか。

【町長】 5年前に比べて団体数はふえています。資源回収量は少し減少しています。

【安里】 地域の資源回収を利用する人と民間の回収ボックスを利用している人もあるのではないのでしょうか。それなら町のリサイクル拠点があつて



捨てればごみ 分ければ資源

もいいたくないでしょうか。

【町長】 現在町では、食品トレーやペットボトル、乾電池や使用済み小型家電などのほか、衣類や使用済みてんぷら油の拠点回収を行っています。このほかの回収に取り組む場合、地域との関係など多くの課題があるため、当面は難しいと考えています。

【安里】 これからの未来のために、ごみの減量化は進めていかなければならぬ課題だと思えますがいかがですか。

【町長】 ごみの減量化は住民一人ひとりの協力がなければ進みません。住民・事業者・行政が一体となってさらに努めていきたいです。



曾宮 良壽 議員

議員

町長

土地利用計画の運用状況は
土地の利用区分別、地域別に
運用している

【曾宮】 国土利用計画は、国土利用計画法に規定されている基本理念に基づき、国や都道府県、市町村がそれぞれの区域に定める国土の利用に関する基本的かつ総合的な長期計画です。岡垣町での計画と土地利用の運用の現状についてお尋ねします。

【町長】 岡垣町では、昭和63年9月に国土利用計画を策定し、運用を行ってきました。

この計画は、目標年次を平成7年度としていたことから、その後の土地利用に関しては、町の最上位計画である総合計画や都市計画マスタープランにおいて、目指すべき方向性を定め、まちづくりを進めてきました。

開発行為については、都市計画法、県条例、町の開発指導要綱に基づいて面積を基準とした区分を行い運用しています。

【曾宮】 岡垣町では、建築基準法上の道路要件を満たしていない宅地が存在しています。町の今後の対策についてお尋ねします。

【町長】 建築基準法は昭和25年に施行さ

れ、具体的な事務の取り扱いを定めた要領は昭和49年から運用が始まりました。それ以前の建築物については、接道義務を果たしていないものがあるため、現行法では建てかえができない住宅となり、空家や空地になっている物件も増加しつつあります。

既に家が立ち並んでいる団地内などでは、無道路地や袋地、旗竿地など形状に特殊な土地がありますが、これらの土地の道路幅員を確保するためには、隣接する個人に道路用地を提供していただく必要があります。しかし、その確保は個人間の協議に委ねられており、町として有効な対策が見当たらない現状です。



委員会視察研修・活動レポート

文教厚生常任委員会

日時 令和元年8月19日～21日
視察先及び目的
・三重県亀山市
とぎれない子どもの育ち支援
・滋賀県甲賀市
子育て支援事業について
・奈良県宇陀市
健康都市ウエルネスシティ宇陀市の取り組みについて

三重県亀山市では、発達障害児への対応などを行うために、平成17年度から保健福祉課子ども総合支援室を設置しています。

乳幼児期から高校生までの支援が途切れてしまわないよう、「ケースファイル※」を活用し、情報共有ができる環境が整備されていました。

滋賀県甲賀市では、妊娠期から出産、子育て期までの切れ目のない支援を目指して、子ども・子育てを総合的に支



亀山市総合福祉センター「あいあい」

援するワンストップ拠点施設として、平成29年度に子育て支援センター「ここもより」を整備しました。

「ここもより」では、保健師を配置し、子育て支援センターと保健センターを兼務し、母子保健と子育て支援の両面から支援する体制となっていました。

奈良県宇陀市は、ウエルネスシティ宇陀市を掲げて、市民の誰もが身体面の健康だけでなく、生きがいを感じ安心して豊かな生活を送れるまち

議会の動き

前回定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議題
7月12日	議会広報	住民懇談会協議
7月12日	議会広報(協)	視察研修協議
7月17日	議会運営	第4回臨時会
7月17日	議会運営(協)	視察研修協議
7月23日	全員協議会	住民懇談会協議
7月29日	文教厚生(協)	視察研修協議
8月6日	文教厚生	福祉について
8月23日	議会運営	第3回定例会
9月6日	本会議	第3回定例会
9月6日	議会広報	議会だより編集・住民懇談会・視察研修
9月9日	本会議	一般質問4人
9月10日	本会議	一般質問3人
9月11日	総務産業	付託案件・国道県道の整備・視察研修・閉会中の継続調査
9月12日	文教厚生	付託案件・視察研修・閉会中の継続調査
9月13日	全員協議会	会計年度任用職員制度・定住促進施策の見直し 他
9月17日	連合審査会	付託案件の審査
9月18日	議会運営	追加議案
9月18日	連合審査会	付託案件の審査
9月20日	本会議	議決(最終日)
9月20日	議会広報	議会だよりの編集 他
9月24日	議会広報	議会だよりの編集 他
10月1日	その他	三里松原保全活動
10月1日	議会広報	議会だよりの編集 他
10月3日	住民懇談会	岡垣町議会住民懇談会
10月4日	議会広報	議会だよりの編集 他

を目指しています。
健康づくりとして、ラジオ体操の普及を核として推進を続けています。また、健康ポイント制度も導入し、地域のコミュニティ力を高め、持続すればするほどメリットが大きくなる取り組みでした。
岡垣町では、10月から「子育て世代包括支援センター」事業が始まります。岡垣町の子

育て支援事業の推進に生かせるように努めます。
※ケースファイルとは
個人の面談資料をまとめている書類のことです

日時
令和元年9月12日
視察先及び目的
・岡垣中学校、山田小学校
学校空調設備について

岡垣町の小中学校にエアコンが完備しました。当委員会では、議会の会期中に現地調査を行いました。



ガス方式のエアコン室外機 (山田小)

10/3 住民懇談会「議員と語ろう」開催

テーマ：人口減少を食い止める処方箋



森山議長の挨拶でスタート



じゃんけん大会でリラックス♪

第1ラウンド 町の人口減少にかがる問題点



今年は6班に分かれて意見交換！
参加者全員に発言していただきました



最初はぎこちなかったけど・・・

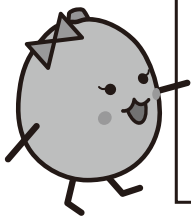
第2ラウンド どうしたら減少に歯止めがかかるか



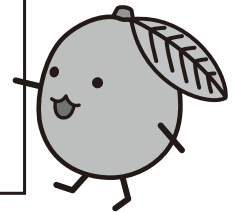
だんだん慣れてきました！



自分が町長になったつもりで、提案しています



各班からまとめと感想を発表！
皆さん力強く語ってくれました



住民の皆さんと意見交換ができ、楽しい夜を過ごすことができました。議会広報常任委員会では、皆さんの意見を集約し次号議会だより（R2.1.25発行）に掲載します。また、議員でも共有し、町長にも伝えます。ご参加ありがとうございました。

岡垣町のここはどこ？

明治43年(1910年)開業初日の利用者は3人でしたが、現在では約8000人が毎日乗降しています。

JR九州の豪華寝台列車「ななつ星in九州」を出迎えることのできる場所です。昨年は町内の保育園や幼稚園の子どもたちが参加しました。列車は減速して、この場所をゆっくりと通過してくれました。ホームから手を振ると乗客も笑顔で答えてくれました。また、この場所には新しくスタンプが設置されました。北斗七星が海水をくむように見える現象「北斗の水くみ」をモチーフとした岡垣町限定スタンプがあります。

びわりん・びわすけからの一言
スタンプを押しに来てね。



No.120の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、サンリーアイフィットネスジムでした。

どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は
12月6日(金)
開会の予定



会議録を
閲覧してみませんか

岡垣町議会
<http://www.town.okagaki.lg.jp/090/>



7・8・9月の主な出来事



えびつかぐや灯籠まつり



海開き



アートフェスティバル



更生会ふれ愛まつり

編集後記

太田 清人

岡垣町議会議員となり、早いもので5カ月が過ぎました。自分にとっての2回目となる今回の9月定例会のメインは、平成30年度決算認定。私は議員選出の監査委員でもありますので、7月から8月にかけて、膨大な資料を精査し、各課の課長や係長との質疑等のやりとりを踏まえた上で、町長あてに審査意見書を提出しました。

この時点で私は町の決算を「認定」したこととなり、そのために、本会議で質疑や意見もできず、議会で活発なやりとりが行われる中、じっと黙って寂しい思いをしておりました。

次の議会では気合をいれるぞ！

発行責任者

議長 森山 浩二

議会広報常任委員会

委員長 平山 正法

副委員長 太田 清人

委員 木原 大輔

委員 安里 雅恵

委員 三浦 進

委員 川地 啓輔